

地域づくり協議会 センター長（事務局長）情報交換会
振り返りシート 自由記述のまとめ

<事務局業務の大変さ>

- 事務局長の仕事がかなり多いことがよくわかりました。今後は、各種団体に事務する人を設けてもらおうと思います。
- 頑張りますが、私の仕事量は多すぎる。
- それぞれ悩み多い事でやっておられる。
- より大変さを実感しました。
- 各事務局長の悩みや困りごとを聞いて、「皆、そうなのか」と、元気を出していこうと思った。
- 各地域の事務局も相当苦勞なさっている状況が分かり少し安心しました。
- 各地域づくり協議会の状況がわかり、少し安心感。

<勤務体制について>

- 勤務体制がわかった。
- 事務局員のすべての活動を勤務にしていることが多いのが、収穫といえば収穫。
- ラインを使つての連絡体制の有効性を知った。

<地区間の違い>

- 地域により違いがあることを知りました。
- 地域にあった仕事を進めていくこと。
- 小規模多機能自治は、それぞれに判断、企画していくのでよいと再確認できた。
- 各地区の運営内容が多少わかってきた。
- 今年は去年までの（行事、会計）を行ってから考えたい。
- 婦人会組織の見直し。
- 他の協議会事情が理解できた。
- 各地域ごとに悩みは違い、大変なこともあることを知れたことがよかったです。
- いろいろな運用があるということが分かったが、南砺市でバラバラ。

<会計ソフトについて>

- 会計ソフトの入力方法
- 会計ソフトの入力について教えて回ることを希望します。
- 会計ソフトを使わないというのは初めて聞いた（使わない方法もある？）

<南砺市・暮らしません課への要望>

- 南砺市・富山県での各種団体、協議会、組織の活動内容や上部下部構造を整理してほしい。(同じ地域内の活動がよくわからない。)
- 市の中の連携を聞くと、担当により答えがちがう。
- 各地域の困っていること、情報集めもよいが、市からのお手本指導が欲しい。

<なんと未来支援センターへの要望>

- やはり現地に見に来て現地の状態をつかんでいくのは先決ではないでしょうか。
- 市の指導を強くしてほしい。
- 各協議会の取組紹介(一律ではなくよい取り組みをしている協議会)
- 研修だけでなく、会議が必要。
- 各地区の地域づくり協議会の情報(活動内容)共有化(クラウド活用)

<今回の情報交換会について>

- 500円を徴収する意味が分からない。無料にして「各自、飲み物持参してください」とすべきである。
- 20分ごとの移動はあまり良いと思わなかった。
- 固定の4人グループで1時間語り合うほうがよかった。
- 会議の目的がわからない。
- 一律さらにを求めるような提示の仕方はやめてほしい。
- 具体的な事務上の話が聞きたかった。
- いろいろな情報や悩みが聞けてよかった。
- 情報の交換ができてよかった。
- グチが多くなった。

<その他>

- 協議会長宛ての文書が大方交流センターに来るようになったがまだ協議会長本人に届くこともある。発送する市役所、関係団体の意識を早く変えて、「小規模多機能自治」のしくみを周知するようしてほしい。